

2022（令和4）年度

第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価調書



ジオパークの町 鹿追町



とがち鹿追ジオパーク



2022（令和4）年度 第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価総括表

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2018(H30)年度	単年度目標値 2022(R4)年度	実績値 2022(R4)年度	単年目標 達成率	評価	最終目標値 2023(R5)年度	総合計画 ページ	担当課
-----	-------	-----	------	--------------------	----------------------	-------------------	-------------	----	---------------------	-------------	-----

1.その先へプロジェクト

1	子育て支援	子育て世代の包括的支援	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合（％）	98	100	96	96%	A	100	40	保健福祉課
			子育て世代包括支援センターを知っている妊婦の割合（％）	42.3 (2021年度)	50.0	43	86%	A	50		
2	学校教育	自然体験留学制度の充実	留学制度による親子留学者数（人）	5	10	11	110%	A	10	48	瓜幕支所
			留連協事業部による各種自然体験事業数（事業）	6 (2021年度)	7	7	100%	A	7		
3	農業（経営・基盤整備）	農業基盤整備事業の推進	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数（地区）	5	3	4	100%	A	4	70	農業振興課
			多面的機能支払交付金執行率（％）	100	100	100	100%	A	100		
4	農業（持続可能な農業）	バイオガスプラントの有効活用・推進	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量（t）	152,500	175,000	176,398	101%	A	181,000	76	農業振興課
			メタン発酵過程で生産されるエネルギー（m3）	4,994,000 (2021年度)	5,200,000	5,105,913	98%	A	5,200,000		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2018(H30)年度	単年度目標値 2022(R4)年度	実績値 2022(R4)年度	単年目標 達成率	評価	最終目標値 2023(R5)年度	総合計画 ページ	担当課
5	商工業	町内企業への支援	町内商工業事業者数（商工会員数）（事業者）	169	165	158	96%	A	165	82	商工観光課
			経営相談・巡回指導件数（件）	617 (2021年度)	630	629	99%	A	630		
6	観光	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開	観光客入込数（人）	742,000	842,000	658,500	78%	C	872,000	86	商工観光課
			自然公園利用者数（人）	45,282 (2021年度)	60,000	81,518	136%	A	90,000		
7	エネルギー	新たな再生可能エネルギーの有効活用	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量（t/年）	0	363	251	69%	B	363	90	企画課
			自営線ネットワークに係る視察受入件数（件）	10 (2021年度)	20	27	135%	A	40 (累計)		
8	情報通信	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進	光回線など、高速通信網整備の事業着手（事業着手前を0・着手（将来目標）を1）	0	0	事業完了 (2021年度)	100%	A	1	118	企画課
			スマホ教室開催数（回）	5 (2021年度)	10	7	70%	B	20 (累計)		
9	財政運営	行財政改革の推進	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額（千円）	0	△ 400,000	△ 324,367	81%	A	△ 500,000	136	総務課
			企業版ふるさと納税寄附額（千円）	0 (2021年度)	20,000	4,600	23%	C	50,000 (累計)		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2018(H30)年度	単年度目標値 2022(R4)年度	実績値 2022(R4)年度	単年目標 達成率	評価	最終目標値 2023(R5)年度	総合計画 ページ	担当課
-----	-------	-----	------	--------------------	----------------------	-------------------	-------------	----	---------------------	-------------	-----

2.「魅力最大化」プロジェクト

1	ジオパーク	ジオパークの地域住民への浸透	とち鹿追ジオパークビジターセンター来館者数（人）	3,000	3,300	3,139	95%	A	3,300	88	ジオパーク推進課
			講座・ツアー等の受講者数（人）	642 (2021年度)	700	728	104%	A	700		
2	花、公園	花による美しい街と豊かな景観づくり	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度（%）	97	99	91	92%	A	100	94	建設水道課
			フラワーマスター会員数（人）	60 (2021年度)	68	57	84%	A	68		
3	農業（安心・安全な農業）	消費者ニーズにかなった体制の確立	十勝型GAPの取組者数（戸）	105	110	114	104%	A	110	74	農業振興課
			環境保全型農業取組者（戸）	24 (2021年度)	25	23	92%	A	25		
4	農業（安心・安全な農業）	安心・安全な農畜産物の需要拡大	各種イベント等における農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数（回）	5	9	6	67%	B	10	74	農業振興課
			乳製品消費拡大PR回数（回）	0 (2021年度)	10	7	70%	B	12		
5	学校教育	国際理解を学ぶ英語教育の充実	鹿追高校での英検2級取得者数（人）	5	9	5	56%	C	10	48	学校教育課
			英検受験率（%）	44 (2021年度)	50	52	104%	A	50		
6	学校教育	幼小中高一貫教育による深い学びの実践	町内中学生の鹿追高校への進学率（%）	58	70	58	83%	A	70	50	学校教育課
			各学校での学校評価の実施回数（回）	2 (2021年度)	2	2	100%	A	2		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2018(H30)年度	単年度目標値 2022(R4)年度	実績値 2022(R4)年度	単年目標 達成率	評価	最終目標値 2023(R5)年度	総合計画 ページ	担当課
-----	-------	-----	------	--------------------	----------------------	-------------------	-------------	----	---------------------	-------------	-----

3.「つながり」プロジェクト

1	高齢者福祉	地域包括ケアシステムの推進	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数（件）	357	450	419	93%	A	500	44	保健福祉課
			医療介護福祉の機関との会議開催数（回）	3 (2021年度)	12	6	50%	C	12		
2	商工業	道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携	町外道の駅との連携イベントの実施回数（回）	2	7	0	0%	Y	10	82	商工観光課
			道の駅しかおい、うりまく入込数（人）	139,436 (2021年度)	150,000	154,133	103%	Y	160,000		
3	防災	防災意識の普及と防災体制の充実強化	行政区等を対象とした防災訓練等の回数（回）	0	10	5	50%	C	10	106	町民課
			避難所運営マニュアル等の改定（事業）	0 (2021年度)	1	1	100%	A	3 (累計)		
4	交流	国際姉妹都市との交流促進	受入れホスト家庭数（戸）	308	348	318	91%	C	358	122	企画課
			国際交流事業に参加した鹿追町民の数（人）	60 (2021年度)	60	220	366%	B	60		
5	交流	国内友好都市等との交流促進	国内姉妹提携都市数（自治体）	0	0	0	0%	Y	1	122	企画課
			台東区内の民間団体等との連携事業数（事業）	2 (2021年度)	2	2	100%	A	3		
6	コミュニティ	町民の町政参加機会の拡充	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数（件）	0	3	0	0%	D	5	124	企画課
			公募による会議などへの参加件数（件）	1 (2021年度)	3	0	0%	D	3		

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値 2018(H30)年度	単年度目標値 2022(R4)年度	実績値 2022(R4)年度	単年目標 達成率	評価	最終目標値 2023(R5)年度	総合計画 ページ	担当課
7	コミュニティ	広報広聴活動の拡充	ふれあいトークへの参加人数（人）	0	250	56	22%	D	300	124	企画課
			鹿追お知らせメール登録件数（件）	1,328 (2021年度)	1,400	1,663	119%	A	1,500		
8	コミュニティ	住民自治組織の育成	行政区支援事業への参加件数（件）	24	30	8	27%	D	35	124	企画課
			職員等による出前講座、勉強会などの開催回数（回）	14 (2021年度)	15	14	93%	A	20		
9	行政運営	他市町村との情報共有など広域行政の連携強化	十勝管内の観光入込み客数（延べ人数）（万人）	1,033	1,046	711	69%	B	1,046	134	企画課
			十勝管内バス乗客数（万人）	459	464	328			464		

評価	全47のうち、各評価の数	率	評価基準	評価基準参考値	補足
A	28	59.6%	（目標に向けて）非常に効果があった	目標の8割以上	左の評価基準参考値（目標の〇割以上）はあくまでも参考になります。 例えば、当初設定した指標が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けるようなものになっている場合は、実績値に大きく影響しますので、左の評価基準参考数値に限らず、総合的な判断にて評価をしています。
B	6	12.8%	（目標に向けて）概ね効果があった	目標の6割以上	
C	6	12.8%	どちらとも言えない	目標の4割以上	
D	4	8.5%	（目標に向けて）あまり効果的ではなかった	目標の2割以上	
E	0	0.0%	（目標に向けて）効果的ではなかった		
X	0	0.0%	今年度は事業実施年度ではない		
Y	3	6.4%	次年度以降に事業実施予定		
Z	0	0.0%	前年度までに事業が完了した		

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	保健福祉課 健康推進係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えるとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合	100%	98%	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合
施策と指標の関連性	子育て世代への総合的な支援体制を構築し、支援体制への満足度を向上させたいため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	7,324	6,585	5,959	98	94	A	96%	子育て世代包括支援センター設置
2021	4,500	-	-	98	90	A	92%	子育て世代包括支援センターについて広く周知
2022	4,500	-	-	100	96	A	96%	親同士がつながれるような支援・サービスについての充実
2023	4,500			100				手厚い支援が必要な親子への支援の充実
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
楽しく子育てできるための、サービスや相談体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携会議を実施し、日常的にも密に連携を図れるようにつなげていく。</li> <li>育児力を高めて行けるような、教室やサポート体制について検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉課</li> <li>子育て支援課</li> <li>教育委員会</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		連携会議			連携会議	親同士の交流会など		連携会議			広報にて周知

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳幼児健診時のアンケート	親同士が交流を図れる機会を新たに設けたり、コロナでの制限も緩和してきたことから、つながりも増え、子育てに関する満足度も高まっていると思われる。目標達成率が9割に達していたためAとした。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
子育て支援に関しては、満足している割合も増えていることから変更点はないが、引き続き、ニーズに応じた子育て支援のサポート体制の充実を図る。	新たに始めた親子の交流会については、内容や開催回数等を検討する。関係機関での連携についても、その都度必要性に応じて、個別支援会議を設けていく。	満足度については、引き続き、乳幼児健診でアンケートを実施し、更に出産・子育て給付金でのアンケートの機会も増えているため、その中で具体的な要望等も確認していく。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		保健福祉課 健康推進係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えるとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	子育て世代包括支援センターを知っている妊婦の割合	50%	42.3%	母子健康手帳交付時の段階で確認
施策と指標の関連性 早い段階から相談場所を知っていることで、心配事に対して早期に対応できることにつながるため、この指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	-	-	-	50	43	A	86%	若い世代への子育てに関する相談場所への周知
2023	-			50				子ども家庭センターについて設置検討
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
妊娠・出産・子育てに関して、支援を求めやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民に向けて子育て世代包括支援センターについて、広報以外にも様々な周知方法を工夫する</li> <li>妊産婦の支援プランを作成し不安なく子育てできるように支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉課</li> <li>子育て支援課</li> <li>教育委員会</li> </ul>

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
妊産婦のプラン作成							若い年代への周知				広報にて周知

Check 「Do」の結果・チェックなど			
結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	母子健康手帳交付時のアンケート	相談窓口については、高校生への健康教育の際や広報、アプリ等で周知を図った。目標の達成度としては、8割以上を達成しているためAとしたが、妊婦の半分弱にしか子育ての相談場所を知られていない現状であり、引き続き周知を図る。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など	
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2024年度には、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点が統合し、子ども家庭センターへ体制が変わるため、子育て支援体制については新たに検討が必要になる。	子ども家庭センターの開設に向けて、実施体制についての協議が必要になるため、関係者での検討会を開催する。	引き続き、母子手帳交付時や乳幼児健診時のアンケートにおいて、ニーズに応じた支援ができていないか確認していく。また、支援が必要な方に早期に対応できているか、個々のケースの状況により評価していく。



2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係
-------	------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	親子留学者数	10人	5人	留学制度による親子留学者数
施策と指標の関連性	他者への理解を促進する教育のために受け入れている、他地域からの児童や生徒の数を指数とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	17,000	16,957	16,274	5	8	B	160%	地域での受け入れ可能数の現況調査
2021	17,000	16,896	15,696	5	13	B	260%	留学制度再設計の検討
2022	17,000	16,753	15,201	10	11	A	110%	留学制度受け入れ体制（居住環境整備）の構築
2023	17,000			10				留学制度受け入れ体制の充実
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標											
	具体的な方針	具体的な事業内容									実施体制	
	今後の留学制度について、現状を踏まえての制度の再設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での受け入れ可能数の現況調査</li> <li>地域と学校への留学制度の理解を促す</li> </ul>									<ul style="list-style-type: none"> <li>瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会</li> <li>教育委員会</li> <li>町長及び副町長</li> <li>瓜幕支所</li> <li>企画課（移住）</li> <li>建設水道課（公住）</li> </ul>	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				現況調査	現況調査	現況調査	現況調査	現況調査	現況調査	現況調査	現況調査	現況調査
Check	「Do」の結果・チェックなど											
	結果	評価参考基準				実績値の把握方法		ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)				
	A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了				留学生受入実績		HPによる問い合わせ数が安定してきている。また、経験者の他の兄弟や形態を変えての希望も一定数いる等も要因として考えられる。目標数を超えたためAとした。				
Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など											

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
地域の家庭数の変化（減少）を考慮しながら、留学生の数や、より適した留学生の受け入れを検討していく。	ほぼ1年を通じて、今年度と次年度以降の状況を検討していく。（感染症対策なども含む）	留学生数が多ければ良いものでもないで、留学生家族にとっても地域にとってもプラスになるような数値やマッチングが重要となる。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	瓜幕支所 地域振興係
-------	------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	自然体験事業	7事業	6事業	留連協事業部による各種自然体験
施策と指標の関連性	交流や地域の活性化を目指し留連協事業部が実施する、地域の子どもや大人も含めた魅力的な自然体験事業の事業数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	17,000	16,753	15,201	7	7	A	100%	・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
2023	17,000			7				・山菜採取体験・サマーキャンプinうりまく・ナイトクルーズ・熱気球体験・搾乳体験・冬の活動・中学校スキー体験
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業	事業			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
留学生にとっても地元の子にとっても魅力的な事業を計画・検討・実施していく	山菜採集体験、サマーキャンプinうりまく、ナイトクルーズ星座観察体験、農業体験、熱気球体験、冬の体験活動、スキー・スノーボード体験	・瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 事業部

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討	実施(山菜)	検討	検討・実施(サマキャン)	検討	検討・実施(星座)	検討・実施(農業・熱気球)		検討	検討	実施(冬の体験)	実施(スキー)

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	自然体験事業数と内容	新型コロナウイルスも落ち着き、事業の内容を工夫しながらも全て行うことができた。また学校や地域からも理解と協力を得ながら行うことができたのも良かった。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染が落ち着いてきたので、農業体験でしほらく実施できなかったそば打ち体験ができないか検討していきたい。	スケジュールや内容については、これまでと同様の方法をもって事業を推進する。	留連協事業部による各種自然体験の数の把握について、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様とする。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		農業振興課・耕地整備係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	事業実施地区数	4地区	5地区	国営・道営事業による農業基盤整備事業事業実施地区数
施策と指標の関連性	施策として行う農業基盤整備事業を実施した数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	500,000	320,000	216,000	5	5	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 北瓜幕地区 ・道営草地畜産基盤整備事業 上頼内地区
2021	500,000	298,200	240,186	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 北瓜幕地区
2022	300,000	315,000	224,800	3	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区
2023	300,000			4				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 美曇高台地区 ・道営担い手畑総事業 第2北鹿追地区
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	地区	地区			

評価  
総括表

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容		実施体制
農業農村整備事業の計画的な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査</li> <li>道営かんがい排水事業 瓜幕地区</li> <li>道営担い手畑総事業 東瓜幕地区</li> <li>道営担い手畑総事業 美曇高台地区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興課</li> <li>農業関係機関</li> <li>町民</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札	調査及び工事実施											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業実績	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり整備が進んでいる。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
当初の事業計画通り整備が進んでおり、変更点はないが、地域要望に応じて引き続き事業実施について検討する。	変更点はないが、悪天候や社会情勢等による変更が生じた場合は、関係受益者と調整を図る。	関係機関と連携し、受益者と調整を図りながら円滑に整備を進める。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		農業振興課・耕地整備係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業等による農業基盤整備事業を計画的に実施

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	交付金執行率	100%	100%	多面的機能支払交付金執行率
施策と指標の関連性		環境保全活動として実施している多面的機能支払交付金事業の執行率を指標とした。		

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	100,000	101,405	101,369	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 (地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など)
2021	100,000	101,369	101,342	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 (地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など)
2022	100,000	101,342	101,323	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 (地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など)
2023	100,000			100				多面的機能支払交付金事業費 (地域資源保全・向上、施設長寿命化、組織体制強化など)
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
環境保全活動を継続的に実施	・多面的機能支払交付金事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興課</li> <li>・農業関係機関</li> <li>・町民</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多面的機能支払交付金事業による環境保全活動											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実績報告書	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画とおり活動が実施されており、本事業に対する理解や評価も良い。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
当初の事業計画通り活動が実施されており、変更点はないが、引き続き本事業を計画的に実施する。	引続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、取組みを実施してもらう。	実績報告書等により実施状況を確認し、指導・助言を行う。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにFIT終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	バイオマス資源の年間活用量	181,000 t	152,500t	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量
施策と指標の関連性	バイオガスプラントの有効活用を図る上で原料の安定確保が重要であるため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	300,000	448,177	287,161	160,000	161,534	A	101%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。マスタープランの策定。
2021	300,000	285,593	284,316	167,500	161,652	A	97%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2022	300,000	343,559	346,076	175,000	176,398	A	101%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2023	300,000			181,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2024								
2025								
2026								
2027								

4年見直し

評価総括表

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿追町環境保全センターの安定稼働</li> <li>マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討</li> <li>しかおい水素ファーム事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町長、副町長</li> <li>農業振興課</li> <li>農業関係機関</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿追町環境保全センターの安定稼働</li> <li>未整備地区バイオガスプラントの検討</li> <li>しかおい水素ファーム事業の推進</li> </ul>											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	バイオマス施設の実受入量	家畜排せつ物等の廃棄物家バイオマスの有効活用が推進された。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
既存施設については老朽化した設備の更新等を図り、安定稼働を推進する。未整備地区のバイオガスプラントについては、事業費確保のための方策を検討する。	安定稼働のために稼働状況や修繕、設備更新の必要性について検討する。未整備地区バイオガスプラントについては、施設規模や事業費等の見直しを進めていく。	施設のトラブルを未然に防ぐため、日々の点検を徹底する。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにF I T終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	バイオガス生産量	5,200,000m3	4,994,000m3	メタン発酵過程で生産されるエネルギー
施策と指標の関連性	バイオガスプラントの有効活用を図る上でバイオマスエネルギーの有効活用が重要であるため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	-	-	-	5,200,000	5,105,913	A	98%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2023	-			5,200,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	m3	m3			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿追町環境保全センターの安定稼働</li> <li>マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討</li> <li>しかおい水素ファーム事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町長、副町長</li> <li>農業振興課</li> <li>農業関係機関</li> </ul>

Do 「Plan」 を実行するためのスケジュール・内容
-----------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿追町環境保全センターの安定稼働</li> <li>未整備地区バイオガスプラントの検討</li> <li>しかおい水素ファーム事業の推進</li> </ul>											

Check 「Do」 の結果・チェックなど
-----------------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	メタン発酵によるバイオガス製造量	バイオガスによる発電、熱、水素利用が推進されている。

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
安定的なバイオガス生産を図るため、発酵槽内の温度やV F A の状況を確認する。	安定的なバイオガス利用を図るため、発電機のメンテナンスや水素施設の定期点検を実施する。	季節ごとのガス利用料等のデータを収集し、効率的なバイオガス利用を推進する。



2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		商工観光課 商工労政係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	商工業事業者数	165事業者	169事業者	町内商工業事業者数(商工会員数)
施策と指標の関連性	コロナの影響や事業者の高齢化などによる事業継続が厳しい中、事業者の経営、事業の発展を支援する施策により、商工会員数の減少を抑えることを指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	27,990	27,990	34,769	165	164	A	99%	・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2021	32,255	39,693	27,372	165	162	A	98%	・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2022	32,255	34,010	29,364	165	158	A	96%	・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2023	32,255			165				・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業者	事業者			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会による経営改善普及事業等補助事業、商工会一般事業、近代化推進活動事業への補助事業を実施することにより町内事業者への経営支援等を推進する</li> <li>商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援することで経営の安定化を推進する</li> </ul>	鹿追町 鹿追町商工会	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会各種補助											利子補給実施	事業評価委員会

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会の総会議案で確認する。	新型コロナウイルス感染症の対策として各種事業(利子、特別利子補給、プレミアム付き商品券等)を実施した。情勢に合わせ資金支援(運送事業者別・商工業事業者別)を行ったことで、商工会員数を微減に食い止めることができた。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
長らく続いた、新型コロナウイルス感染症による事業への影響は、5類に移行後、回復傾向にあります。しかし、コロナ禍前までの状態に戻るには時間を有するため前年度同様の事業方針を継続して進める。	情勢の変化により国・北海道・関係機関の各種補助金を活用し、商工会、町内事業者と情報共有を図りながら、効果的な事業を実施する。	商工会会員数を目標値・実績値としており問題無いことから前年度同様とする。

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		商工観光課 商工労政係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	経営相談・巡回指導件数	630件	617件	経営相談・巡回指導件数
施策と指標の関連性	コロナや原油高騰による物価上昇などの情勢変化により事業者が受ける影響は多方面にわたる。事業者に寄り添ったきめ細やかな対策、対応が必要となるため、経営相談、巡回指導の件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	32,225	34,010	29,364	630	629	A	99%	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など）</li> <li>事業資金利子補給事業</li> </ul>
2023	32,225			630				<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善普及事業等補助事業（経営改善普及事業、近代化推進活動事業など）</li> <li>事業資金利子補給事業</li> </ul>
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

評価総括表

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会による経営改善普及事業、商工会一般事業、近代化推進活動等各事業への経営支援について、事業所の形態に合わせ、柔軟に対応するため、経営相談等を推進します。</li> <li>町、道、国と連携し、商工業資金利子補給事業やその他支援制度について、巡回、窓口相談により推進します。</li> </ul>	鹿追町 鹿追町商工会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会の巡回は毎月実施					途中経過確認					実施状況聞き取り・検証	

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会の総会議案で確認する。	新型コロナウイルス感染症により、様々な制限を受ける中でも、積極的に相談支援を行い、e-taxによる申告件数も前年度比119%と、納税処理の簡素化、事務効率化を図りました。共済制度普及やキャッシュレス、インボイス制度など多岐にわたるメニューで経営の安定化を図ることができた。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
長らく続いた、新型コロナウイルス感染症による事業への影響は、5類に移行後、回復傾向にあります。しかし、コロナ禍前までの状態に戻るには時間を有するため前年度同様の事業方針を継続して進める。	情勢の変化により国・北海道・関係機関の各種補助金を活用し、商工会、町内事業者と情報共有を図りながら、効果的な事業を実施する。	巡回・窓口相談数を目標値・実績値としており問題無いことから前年度同様とする。



2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		商工観光課 観光係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	観光客数（うち外国人数）	872,000人 (7,000人)	742,000人 (4,007人)	観光客入込数 (うち外国人観光客)
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により増加させる観光客入込数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	26,276	26,027	16,903	792,000 (5,000)	598,700 (6)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2021	24,523	26,630	25,900	822,000 (6,000)	590,200 (0)	C	72%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2022	24,523	24,223	31,423	842,000 (6,500)	658,500 (3,713)	C	78%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2023	24,523			872,000 (7,000)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	withコロナ、afterコロナを見据えた事業により、誘客施策を進める。	夏の伝統イベント「白蛇姫まつり」や冬の北海道を代表するイベント「しかりべつ湖コタン」をはじめ、然別湖畔園地公園を活用した小規模イベントを定期的実施し、湖畔及び鹿追町内への観光客増加を目指す。	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業計画	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施				イベント実施	イベント実施	検証

Check	「Do」の結果・チェックなど			
結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)	
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	町内事業者・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。	3年ぶりにイベントを開催し、少しずつ観光客が戻りつつあるが、最盛期の観光入込客数には及ばず評価をCとした。	

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
感染症の状況を注視しながら事業方針を進める。	国や北海道の各種支援策の情報収集を積極的に行い、観光協会等の関係団体や町内事業者とともに、その時々の方情に合わせて事業を実施する。	観光客の入込数を目標値・実績値としており問題ないことから前年度同様とする。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	自然公園利用者数	90,000人	45,282人	自然公園利用者数
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により増加させる自然公園利用者数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標	内容
				目標値	実績値	自己評価	達成率	
				人	人		%	
2022	26,630	25,900	31,423	60,000	81,518	A	136%	・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
2023	24,223			90,000				・国立公園内事業等による自然公園利用者数の増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
------	---------------------------	--

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
withコロナ、afterコロナを見据えた事業により、誘客施策を進める。	鹿追町観光協会等の関係団体と連携し、町内で集客につながる様々なイベント等事業を展開し、然別湖等国立公園への誘客を図るとともに、湖畔との往来中に町内飲食、物販等の消費行動へつなぐ機会を増加させる。	鹿追町 鹿追町観光協会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業計画	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	検証

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	自然公園内キャンプ場・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。	感染症の影響により屋外活動が活発化し、然別湖周辺観光客が増加したため、目標を達成することができた。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
感染症の状況を注視しながら事業方針を進める。	国や北海道の各種支援策の情報収集を積極的に行い、観光協会等の関係団体や町内事業者とともに、その時々的情勢に合わせて事業を実施する。	観光客の入込数を目標値・実績値としており問題ないことから前年度同様とする。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		企画課企画係 ICT・エネルギー担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	自営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	CO2年間排出削減量	363t/年	-	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量
施策と指標の関連性	再生可能エネルギーの有効活用の主たる理由がCO2削減（地球温暖化対策）のため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	201,233	200,452	198,005	121	107	A	88%	自営線ネットワーク整備事業完工 本格運用12月頃～
2021	8,021	7,111	6,690	363	303	A	83%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2022	8,021	2,882	2,585	363	251	B	69%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2023	8,021			363				性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	t/年	t/年			

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
自営線ネットワークの適切な運用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気主任技術者による毎日の点検、月次点検、法定年次点検を実施し、適切な運用管理を徹底する。</li> <li>CEMSから得られる情報を元に省エネルギーを推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画課</li> <li>自営線ネットワーク施設担当課</li> </ul>

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
適正な運用・管理												

Check 「Do」の結果・チェックなど			
結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A～Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	CEMS帳票により自動算出(帳票出力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地中熱ヒートポンプにかかる電力量が想定を大きく上回り、削減効果を縮小させてしまった。現在、原因究明中。</li> <li>目標達成率が7割だったため、Bとした。</li> </ul>

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など		
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
通常管理に加えて、地中熱ヒートポンプに関連する施設・エネルギー使用量についてよりきめ細かに分析を進める。	通常管理に加えて、地中熱ヒートポンプに関連する施設・エネルギー使用量についてよりきめ細かに分析を進める。	地中熱ヒートポンプの評価結果については、常時施工業者及びコンサルに共有し、最適な運用方法を模索する。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係 ICT・エネルギー担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	自営線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	自営線ネットワークに係る視察受入件数	40件 (累計)	10件	自営線ネットワークに係る視察を積極的に受け入れ、概要、効果等について正確に案内する。
施策と指標の関連性	自営線ネットワークの主たる目的のひとつに「他自治体等への波及（モデル）」を掲げており、視察を受け入れることで波及実績につながると考えたため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	8,021	2,882	2,585	20	27	A	135%	自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
2023	8,021			20				自営線ネットワークに係る視察を受け入れ、関連施設の現場や構築経緯、効果や課題などについて正確に案内。
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
	具体的な方針	実施体制
	自営線ネットワークに係る視察を積極的に受け入れ、概要、効果等について正確に案内する。	主にデジタルサイネージ、西サイト、エネルギー棟をフィールドに、自営線ネットワークの概要、効果、整備するにあたっての留意すべき事項などについて案内。  ・企画課 ・自営線ネットワーク施設担当課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜、視察受け入れ											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	視察記録	・脱炭素先行地域の認定及び水素ステーションの商用化に伴い、自営線ネットワークの視察が増加した。また、依頼があったものは全て受け入れることができた。 ・目標達成率が8割以上だったため、Aとした。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
これまでの方針のとおり、次年度以降も波及促進の為に積極的に視察者を受け入れる。	依頼者と日程調整の上、原則全ての視察を受け入れつつ、最新のデータや課題について正確に案内する。	引き続き、視察件数等について正確に記録する。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		企画課 企画係ICT・エネルギー担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進
	施策の概要	他自治体における高速通信網の整備状況と手法及び民間事業者による整備の可能性、国などにおける補助制度の動向など、あらゆる可能性を調査検討し、町内全域の情報通信環境の高度化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	事業着手	事業着手	—	光回線など、高速通信網整備の事業着手
施策と指標の関連性 施策＝光回線の事業着手が必要なため。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	-	0	0	-	事業着手	A	100%	調査検討
2021	-	0	0	-	整備完了	A	100%	調査検討
2022	-	0	0	-	-	A	100%	調査検討
2023	-				事業着手			光回線など、高速通信網整備の事業着手
2024								
2025								
2026								
2027								
4年見直し								
単位	千円	千円	千円					

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
事業方針	具体的な事業内容	実施体制	

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容（主要なもの）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	整備事業者であるNTTとの連携の中で、2022年2月に整備完了を確認。	当初2023年度時点における「事業着手」をゴールとしていたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の有効活用により、2021年度において「整備完了」まで進めることが出来たためAとした。

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
事業完了	事業完了	事業完了

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課 企画係ICT・エネルギー担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進
	施策の概要	他自治体における高速通信網の整備状況と手法及び民間事業者による整備の可能性、国などにおける補助制度の動向など、あらゆる可能性を調査検討し、町内全域の情報通信環境の高度化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	スマホ教室開催数	20回 (累計)	5回	通信業者と連携した「スマホよろず相談（教室）」を実施
施策と指標の関連性 高齢者を中心としたデジタル弱者に対して、高速通信網を生かした便利な日常を促進するため。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	10	7	B	70%	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
2023	0			10				高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）として、「スマホよろず相談（教室）」を開催
2024								
2025								
2026								
2027								
4年見直し								
単位	千円	千円	千円	回	回			

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
事業方針	高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）	実施体制
	地域コミュニティ活性化のためのデジタル化推進に関する連携協定を締結している「株式会社ヒグマ（帯広市）」と連携し、老人クラブ連合会や行政区等の団体申し込みや誰でも参加可能な高齢者を中心とした地域住民へのスマホ等の活用支援（無償）	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画課</li> <li>株式会社ヒグマ</li> <li>老人クラブ連合会等</li> </ul>

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容（主要なもの）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜スマホ教室を開催											

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	開催記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 昨年度の課題を活かし、よりニーズに沿った相談に対応できるよう、事前アンケートに沿ったプログラムを構築するなどの工夫をした。</li> <li>• 目標達成率が7割だったため、Bとした。(新型コロナウイルスの影響により2回中止)</li> </ul>

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
誰でもスマホよろず相談（団体・地区への派遣型ではなくオープン型）のニーズが多かったため、より多く計画する。	株式会社ヒグマとの連携期間が終わったため、新たな企業等と連携体制を構築し、引き続ききめ細かにニーズに対応していく。	引き続き、係にて正確に記録する。



2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		総務課財政係 行財政改革担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	行財政改革の執行額	△500,000千円	—	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額(年間)
施策と指標の関連性 行財政改革の推進として、一番大きな重点項目として、経費の削減効果額とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	705	705	0	0	△ 91,499	A		・行財政改革推進審議会委員報酬など
2021	0	670	539	△ 300,000	△ 172,113	B	57%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2022	0	0	0	△ 400,000	△ 324,367	A	81%	・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2023	0			△ 500,000				・行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	千円	千円			

4年見直し

**Plan** 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
・2020年度以降の行財政改革の執行に向けて、各種会議体を設置し、財政状況の共有や見直し、役員組織の改革について協議を進める。	・行財政改革推進本部の継続 ・職員によるプロジェクトチームを発足 ・行財政改革大綱の見直し	・町長、副町長 ・各所属長 ・総務課(行革事務局、機構改革事務局) ・町民(団体の代表者、有識者など)

**Do** 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容(主要なもの)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				推進本部						推進本部	

**Check** 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	目標で掲げた各種項目の実績数値を抽出	行財政改革推進本部において、新たな財政効果の提案をいただくなど、職員一丸となり目標達成のため取り組んでおり、達成率80%を超えたため、A評価とした。

**Action** Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2021年度行財政改革推進審議会を設置し、行財政改革大綱が制定され、大綱が進行中のため変更点はない。	行財政改革推進本部は年2回開催予定とし、行財政改革大綱進行中の為、行財政改革推進審議会は設置しない。	行財政改革大綱が進行中の為、変更なし。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		総務課財政係 行財政改革担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	企業版ふるさと納税寄附額	50,000千円 (累計)	0	企業版ふるさと納税の寄附額
施策と指標の関連性	行財政改革の推進により増加させる新たな財源である寄附額を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	20,000	4,600	C	23%	企業版ふるさと納税の募集活動を実施
2023	0			30,000				企業版ふるさと納税の募集活動を実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	千円	千円			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業に取り組むための資金を得るため、新たな企業から寄附を受ける。</li> <li>企業との繋がりを広げ、今後連携した取組を行う見込みを得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員への制度の周知、庁内の体制づくり（職員研修の実施）</li> <li>企業へのアプローチ、事業の周知（マッチング会の参加、ホームページの整備、ポータルサイトの登録）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務課、商工観光課、企画課</li> </ul>	

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容（主要なもの）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		町HP内に企業版ふるさと納税に関するページの作成						随時 ・マッチング会参加 ・ポータルサイト登録			

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	決算額を抽出	全職員向けに制度説明会を実施し、ホームページ改修や支援サービスの契約を行った。また、「ほっかいどう応援セミナー」において、直接、町長が町の取組みについてプレゼンテーションを行い本町への応援を促したが、達成率4割以下の為、C評価とした。

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
企業との繋がりを重視し、現在取り組んでいるワーケーションなどを通して新たな財源確保を務める。	随時、マッチング会など参加し、企業との繋がりを行う。	新たな企業と繋がりができないか全課と連携していく。



2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	より多くの町民と共にジオパーク活動を推進するため、教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っていく。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	ビジターセンター来館者数	3,300人	3,000人	とちか鹿追ジオパークビジターセンター来館者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とちか鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	9,398	5,509	4,972	3,100	1,933	B	62%	とちか鹿追ジオパーク推進協議会補助金など
2021	6,605	6,329	5,008	3,200	2,197	B	69%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2022	6,605	4,991	5,615	3,300	3,139	A	95%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2023	6,605			3,300				ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入</li> <li>地域行事でのPRブース出展</li> <li>ジオパーク講座及びツアーなどの実施</li> <li>ジオパークガイド養成講座の実施</li> <li>関係機関と連携した保全活動（登山道整備等）</li> <li>拠点施設の改修及び看板整備</li> <li>アクションプランの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会（町長、団体代表者など）</li> <li>推進協議会幹事会</li> <li>ジオパーク推進課（事務局）</li> <li>町民（ジオパーク協力店、サポーターなど）</li> </ul>

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座、ツアー、教育・保全・PR活動等～3月まで		幹事会			幹事会（予算等）				幹事会
				再認定アクションプランの提出							

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	来館者記録簿 ・町内 ・管内 ・道内 ・道外に分類	ガイド養成講座、ジオ講座、夏・冬ジオツアー、学校・町内団体への出前講座や各種メディアへの宣伝周知PRを図った実施効果が来館者数増に繋がった。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
引続き、とちか鹿追ジオパークの認知向上に向け、裾野を広げた活動を進めていく。	引続き、地域内外の認知向上に向け、環境保全を基軸に教育、観光や関係機関と連携しジオパーク活動を進めていく。	引続き、来館者名簿やHP アクセス解析により、実績数の把握や新規来館者の獲得に向け進める。

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	より多くの町民と共にジオパーク活動を推進するため、教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っていく。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	講座・ツアー等の受講者数	700人	642人	とちろ鹿追ジオパーク講座・ツアーなどの受講者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とちろ鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	6,605	4,991	5,615	700	728	A	104%	ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
2023	6,605			700				ジオパーク活動の推進による講座・ツアー等の受講者数の増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入</li> <li>地域行事でのPRブース出展</li> <li>ジオパーク講座及びツアーなどの実施</li> <li>ジオパークガイド養成講座の実施</li> <li>関係機関と連携した保全活動（登山道整備等）</li> <li>拠点施設の改修及び看板整備</li> <li>アクションプランの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会（町長、団体代表者など）</li> <li>推進協議会幹事会</li> <li>ジオパーク推進課（事務局）</li> <li>町民（ジオパーク協力店、サポーターなど）</li> </ul>

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹事会	協議会総会	講座・ツアー、教育・保全・PR活動等～3月まで		幹事会			幹事会（予算等）			幹事会	
				再認定アクションプランの提出							

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	ジオパーク活動による、各種講座・ツアー等の受講者数	ガイド養成講座、ジオ講座、夏・冬ジオツアー、学校・町内団体への出前講座や各種メディアへの宣伝周知PRを図った実施効果が受講者数増に繋がった。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
引続き、とちろ鹿追ジオパークの認知向上に向け、裾野を広げた活動を進めていく。	引続き、地域内外の認知向上に向け、環境保全を基軸に教育、観光や関係機関と連携しジオパーク活動を進めていく。	引続き、来館者名簿やHP アクセス解析により、実績数の把握や新規来館者の獲得に向け進める。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係	建設水道課 花とみどり係
-------	--------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	花による美しい街と豊かな景観づくり
	施策の概要	鹿追らしい景観を創り出していく上で花の役割は非常に重要であることから道路や小中学校などの公共施設や民有地における景観づくりを進め、観光地としての魅力の向上に努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	花によるまちのきれいさ	100%	97%	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度

施策と指標の関連性 花による美しい街と豊かな景観づくりの達成度を指標とした。

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	4,000	3,821	3,544	97	85	B	88%	・視察研修等旅費、種子・肥料、公共施設花苗など
2021	4,000	4,174	3,948	98	81	A	83%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2022	4,000	3,286	2,664	99	91	A	92%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2023	4,000			100				・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2024								
2025								
2026								
2027								

4年見直し

評価総括表

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
公共施設・民有地等に彩り豊かな花を植栽し、景観づくりを進め、魅力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地、道路沿線の植栽及び除草</li> <li>・公共施設等の植栽</li> <li>・立体トピアリーの設置</li> <li>・大型プランター・プランターの設置</li> <li>・樽型プランターの貸し出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設水道課、各課</li> <li>・フラワーマスター</li> <li>・鹿追地区連絡協議会</li> <li>・花とみどりの町づくり推進協議会</li> <li>・町民（団体・個人）</li> </ul>

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
植栽準備	プランター設置・樽貸し出し	花苗植栽	←-----→			花苗片付	次年度に向けた花壇等整備			←-----→	花苗作り
			花の管理 (水やり・追肥・草抜き等)								

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	独自の指標で数値化し設定した基準値(H25年度)と比較し、当年度の『花によるまちのきれいさ(%)』を求める。	花苗等は順調に生育し、道路・公共施設等への植栽は予定通りに実施。評価については、目標達成率が8割を超えたためAとした。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
次年度以降はコロナウイルス流行前の年間予定に近づけるような活動目標とし、花による環境美化を図る。	次年度以降はコロナウイルス流行前の年間予定に近い年間計画を組む。	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度の把握については、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様に実施する。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		建設水道課 花とみどり係	
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト	
	施策	花による美しい街と豊かな景観づくり	
	施策の概要	鹿追らしい景観を創り出していく上で花の役割は非常に重要であることから道路や小中学校などの公共施設や民有地における景観づくりを進め、観光地としての魅力の向上に努める。	
関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)
	フラワーマスター会員数	68人	60人
施策と指標の関連性	花による美しい街と豊かな景観づくりのために、公共施設等に花を植栽する活動に参加してくれる団体の会員数を指標とした。		

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	4,000	3,286	2,664	68	57	A	84%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2023	4,000			68				・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	公共施設・民有地等に彩り豊かな花を植栽し、景観づくりを進め、魅力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地、道路沿線の植栽及び除草</li> <li>・公共施設等の植栽</li> <li>・立体トピアリーの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラワーマスター 鹿追地区連絡協議会</li> </ul>
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容		
	4月	5月	6月
		プランター設置	花苗植栽
			← 花の管理 (追肥・草抜き等) →
			花苗片付
Check	「Do」の結果・チェックなど		
	結果	評価参考基準	実績値の把握方法
	A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	フラワーマスター会員数 昨年度より会員が減り目標値に届かなかったが、目標達成率は8割を超えたためAとした。
Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など		
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)	
引き続きこれまで通り実施する。ただし、会員の高齢化が著しく、会の存続自体が危うい状態であるため、ゆくゆくは事業内容の検討等が必要である。	引き続きこれまで通り実施する。	公共施設等に植栽等を実施する団体の会員数の把握については、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様に実施する。	

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 農政係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	消費者ニーズにかなった体制の確立
	施策の概要	クリーン農業や環境保全型農業の取り組みを推進するとともに農業生産工程管理（GAP）等の取り組みを推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 （2018年度）	内容
	GAP取組者	110戸	105戸	十勝型GAPの取組者数
施策と指標の関連性	指標は畑作農家戸数がベースとなっており、施策内容の十勝型GAPの取得者数や環境保全型農業の取組戸数と関連している。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	107	115	A	107%	十勝型GAPの推進
2021	0	0	0	110	114	A	104%	十勝型GAPの推進
2022	0	0	0	110	114	A	104%	十勝型GAPの推進
2023	0			110				十勝型GAPの推進
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	戸	戸			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
2018年度十勝型ギャップに取り組んでいる農家戸数の105戸以上になるように取り組みを推進する。	関係機関と連携して、各種会議等でGAPの必要性を周知し、取組の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興課</li> <li>営農対策協議会（農産部会）</li> <li>町民</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							チェック表回収	チェック表回収・集計			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 （結果（A～Z）の理由を記載）
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	畑作組合員名簿（十勝型GAP取組者）	全体的には当初のスケジュール通りに実施することができ、目標達成率が8割以上であったため、Aとした。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 （事業方針や内容など）	Doの変更点 （スケジュールなど）	Checkの変更点 （チェックの体制・方法など）
関係機関と連携して、各種会議等でGAPの必要性を周知し、取組の強化を図ることができたため、2023年度以降も継続して目標を立てる。	概ねスケジュール通りに実施できたため、2023年度以降も継続する。	チェック体制・方法も概ね計画通りに実施できたため、2023年度以降も継続する。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 農政係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	消費者ニーズにかなった体制の確立
	施策の概要	クリーン農業や環境保全型農業の取り組みを推進するとともに農業生産工程管理（GAP）等の取り組みを推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	環境保全型農業取組者	25戸	24戸	環境保全型農業直接支払交付金事業の取組戸数
施策と指標の関連性	環境保全型農業の取り組みを推進することで増加する、環境保全型農業直接支払交付金事業の取組戸数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	16,052	16,052	18,140	25	23	A	92%	環境保全型農業直接支払交付金事業の推進
2023	16,052			25				環境保全型農業直接支払交付金事業の推進
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	戸	戸			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
2021年度環境保全型農業直接支払交付金事業に取り組んでいる農家戸数の24戸以上になるように取り組みを推進する。	関係機関と連携して、各種会議等で環境保全型農業の必要性を周知し、取組の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興課</li> <li>営農対策協議会（農産部会）</li> <li>鹿追町農地・水・環境保全広域協定</li> </ul>

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業内容周知		事業申請受付	事業取組	事業取組	事業取組	交付申請	交付決定				実績報告

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果（A～Z）の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	環境保全型直接支払申請一覧	全体的には当初のスケジュール通りに実施することができ、目標達成率が8割以上であったため、Aとした。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
関係機関と連携して、各種会議等で環境保全型農業の必要性を周知し、取組の強化を図ることができたため、2023年度以降も継続して目標を立てる。	概ねスケジュール通りに実施できたため、2023年度以降も継続する。	チェック体制・方法も概ね計画通りに実施できたため、2023年度以降も継続する。



2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	需要拡大PR・普及活動数	10回	5回	各種イベント等における畜産物需要拡大PR・普及活動の回数(回)
施策と指標の関連性	安心安全な農畜産物の需要がさらに増すよう実施する、各種イベントでのPR回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	1,300	1,700	0	7	4	B	57%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2021	1,300	1,700	1,700	8	5	B	63%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2022	1,300	1,300	1,300	9	6	B	67%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2023	1,300			10				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
町内外において、安心・安全な高品質の本町農畜産物の需要拡大PR、普及活動を実施	各種イベント等において、普及・PR活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>町長、副町長</li> <li>農業振興課</li> <li>商工観光課</li> <li>農業関係機関</li> </ul>

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	各種イベント等で行った農畜産物需要拡大PRの実績	目標達成率が6割以上であったためBとした

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
中止になったイベントはあるものの、代替イベントを行うなど、概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	変更点はないが、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、引き続き普及・PR活動を実施する。	会議を行う 鹿追町農畜産物需要拡大推進協議会幹事会

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	乳製品消費拡大PR回数	12回	0回	乳製品消費拡大PR活動の回数
施策と指標の関連性 農畜産物の中でも、乳製品の需要がさらに増すよう実施するPRの回数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	333	10	7	B	70%	乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
2023	0			12				乳製品需要拡大PR・普及活動の実施
2024								
2025								
2026								
2027								
4年見直し								
単位	千円	千円	千円	回	回			

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
町内において、乳製品のPR、普及活動を実施	毎月第3週において、Aコープで普及・PR活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興課</li> <li>農業関係機関</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳製品需要拡大	目標達成率が6割以上であったためBとした

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	変更点はないが、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、引き続き普及・PR活動を実施する。	会議を行う 鹿追町酪農振興会



2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	学校教育課 学校教育係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	国際理解を学ぶ英語教育の充実
	施策の概要	世界の多様な文化や価値観を学ぶため、国際的な標準語である英語を学び、より深く国際理解教育が進むように英語教育の充実を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	英検取得者数	10人	5人	鹿追高校での英検2級取得者数
施策と指標の関連性 英語教育を充実させた成果としての技能向上を把握するため、英検合格者数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	5	5	B	100%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2021	0	0	0	7	7	A	100%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2022	0	0	0	9	5	C	56%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2023	0			10				英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
一貫教育と姉妹提携都市交流の有用性を利用した英語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者選抜試験のスケジュールに偏重しない連携型入試の有用性を生かして、中学校3年期での実践的な英語教育方法の開発</li> <li>・低年齢時でのストニブレイン町との交流による国際理解教育の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教委（ALT）</li> <li>・各小中学校</li> <li>・鹿追高校</li> <li>・ストニブレイン町</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	ス町との交流による英語教育	ス町との交流による英語教育	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	オンライン公設塾の入塾者に対して受験費用の助成を開始するなど受験機会の確保と受験意欲の向上を図っているが、全体的な生徒数の減少もあり設定した取得者数に繋がっていない。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
受験者の母数の減少により、目標から大きく下回っているが、高い目標設定値に向けて、同様の方針で授業を継続する。	スケジュールや内容については、これまでと同様の方法をもって事業を推進する。	鹿追高校での英検2級取得者数の把握について、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様とする。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		学校教育課 学校教育係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	国際理解を学ぶ英語教育の充実
	施策の概要	世界の多用な文化や価値観を学ぶため、国際的な標準語である英語を学び、より深く国際理解教育が進むように英語教育の充実を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	英検受験率	50%	44%	英検受験者の受験率
施策と指標の関連性	英語教育を充実させ、積極的に英語能力の向上を図る雰囲気が醸成されているか把握するため、英検受験率を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	466	466	431	50	52	A	104%	英語検定受験費用の助成を通じて、積極的に英語能力の向上を図る雰囲気を醸成する。
2023	385			50				英語検定受験費用の助成を通じて、積極的に英語能力の向上を図る雰囲気を醸成する。
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	児童及び生徒への経済的支援及び指定事業等の活用	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検受験費用の助成</li> <li>英検ESG,英検IBAの実施</li> </ul>
実施体制			各学校

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				英検ESGの実施	英検ESGの実施	英検IBAの実施					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	継続的な受験費用の助成と積極的な受験への勧奨や雰囲気の醸成が意欲的な英検受験に繋がっている。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
意欲的な英検受験につなげるため、引き続き受験費用の助成や積極的な受験への勧奨を実施する。	スケジュールや内容については、これまでと同様の方法をもって事業を推進する。	英検受験者の受験率の把握について、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様とする。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		学校教育課 学校教育係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	幼小中高一貫教育による深い学びの実践
	施策の概要	幼児期から高校まで一貫した教育指針のもと、受験勉強に捉われない深い学びを実践します。さらに鹿追高校を町内教育機関の最高学府と位置付けて、高校の存続とともに教育力向上のために総合的に支援します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	鹿追高校への進学率	70%	58%	町内中学生の鹿追高校への進学率
施策と指標の関連性 一貫した教育実施のために、高校での学習につなげる生徒数の割合を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	70	45	B	64%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2021	0	0	0	70	55	B	79%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2022	0	0	0	70	58	A	83%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2023	0			70				研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
幼小中高一貫教育の効果的な運用の確認と再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決能力を向上させるための授業の研究</li> <li>小、中、高校相互の乗り入れ授業や交流授業の充実</li> <li>一貫教育を意識した共通目標の再設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町教委</li> <li>小中学校</li> <li>鹿追高校</li> <li>各学校運営協議会</li> </ul>	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一貫教育の目標再設定				授業改善等の研究	授業改善等の研究				授業改善等の研究	授業改善等の研究		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	鹿追高校への入学率は徐々に上昇しており、昨年度はわずかではあるが目標達成率が8割を超えた。生徒や保護者に対して継続的に高校魅力化プランの情報提供を行っている。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
事業方針や内容などに特に変更点はありませんが、新たに制定された教育大綱に基づいて、一貫した探究教育の推進を図る。	大きな変更点はありませんが、コロナ感染症対策の縮小を受けて、一貫教育公開研究会など、対面方法の授業改善などを重要視して行う。	町内中学生の鹿追高校への進学率の把握について、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様とする。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		学校教育課 学校教育係	
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト	
	施策	幼小中高一貫教育による深い学びの実践	
	施策の概要	幼児期から高校まで一貫した教育指針のもと、受験勉強に捉われない深い学びを実践します。さらに鹿追高校を町内教育機関の最高学府と位置付けて、高校の存続とともに教育力向上のために総合的に支援します。	
関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)
	学校評価	2回	2回
内容		各学校での学校評価の実施回数	
施策と指標の関連性			
深い学びの実現を目指し教育課程の改善のために実施する、各学校での学校評価の回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	80	77	2	2	A	100%	統合型の学校運営協議会での審議により、町内全体を俯瞰した学校評価活動を客観的に行う。
2023	0			2				統合型の学校運営協議会での審議により、町内全体を俯瞰した学校評価活動を客観的に行う。
2024								
2025								
2026								
2027								
4年見直し								
単位	千円	千円	千円	回	回			

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標										
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制									
教育課程の検証・改善	全ての学校が教育課程のPDCAサイクルマネジメントを確立する。	各学校									
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容										
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第1回学校評価	検証・改善				第2回学校評価	検証・改善		
Check	「Do」の結果・チェックなど										
結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)								
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	学校運営協議会の会議を以て、学校の活動目標と学校評価を適切に行なっている。								
Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など										
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)									
教育課程の検証・改善を引き続き実施する。	法に基づいて実施するため、スケジュール等には大きな変更はなし。	各学校での学校評価の実施回数の把握について、これまで通りで問題ないことから、前年度と同様とする。									

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係	保健福祉課 包括ケア係
-------	-------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムの推進
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を送ることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考えていきます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	総合相談者数(新規)	500件	357件	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数
施策と指標の関連性	高齢者が在宅生活を継続する方法を共に考える手段のひとつである相談件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	24,000	24,915	25,020	350	133	B	38%	地域支援事業費(介護予防・生活支援サービス事業費など)
2021	24,000	25,828	25,504	400	203	B	51%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2022	24,000	28,274	27,682	450	419	A	93%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2023	24,000			500				相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の支援を必要とする高齢者や家族などの相談を受け付け、適切な機関・制度・サービスにつなぎ支援していきます。</li> <li>医療機関と居宅に関する介護サービスとの連携を図ります。</li> <li>権利擁護業務の推進に努めます。</li> </ul>	介護予防・日常生活支援総合事業、総合相談支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、認知症施策の推進、権利擁護業務、在宅医療・介護との連携の推進、生活支援サービス体制の整備、居宅介護支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>各所属長</li> <li>保健福祉課</li> <li>社会福祉協議会</li> <li>医療機関</li> <li>介護施設</li> <li>介護サービス事業所</li> <li>町民</li> </ul>

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各種相談 ・在宅医療介護連携推進会議 ・権利擁護業務準備	各種相談 ・各種相談 ・権利擁護関係機関話し合い	各種相談	各種相談 ・在宅医療介護連携推進会議	各種相談	各種相談 ・権利擁護について の町民周知	各種相談 ・在宅医療介護連携推進会議	各種相談	各種相談	各種相談 ・在宅医療介護連携推進会議	各種相談 ・次年度権利擁護業務の話し合い	各種相談

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の相談件数	新規相談件数も増加している。相談件数が増えているという事は、支援が必要な方が増えている状況はあるが、相談窓口の周知や医療機関との連携強化により、早期に支援、介入する事ができている。目標値の8割を超えているためにAとした。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
感染症分類の移行により、今までに躊躇していた事業を再開している。相談支援事業の充実や認知症施策、防災対策に力を入れていきたい。	随時の相談については継続する。2023年度の事業再開に向けて準備をする。	包括支援センター業務の推進を図る事で、地域住民へ貢献できると考えていることから、包括支援センター業務の評価をチェック項目にする事が妥当と考え継続する。総合相談、居宅介護支援事業所の新規相談件数を指標とする。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		保健福祉課 包括ケア係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムの推進
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を続けることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考えていきます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	医療介護福祉の関係機関との会議開催数	12回	3回	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催回数
施策と指標の関連性	医療介護福祉の関係機関と連携して町民への支援を考えるために開催する会議の回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	12	6	C	50%	地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
2023	0			12				地域ケア会議、ケースに係る連絡会議、在宅医療介護連携推進会議等の開催
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

Plan 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
医療・介護・福祉に係る関係機関との連携を図ります。	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、在宅医療・介護との連携の推進、居宅介護支援、地域ケア会議、担当ケースに係る関係機関との連絡会議等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各所属長</li> <li>保健福祉課</li> <li>社会福祉協議会</li> <li>医療機関</li> <li>介護施設</li> <li>介護サービス事業所</li> <li>町民</li> </ul>

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
・連絡会議 ・地域ケア会議	・連絡会議	・連絡会議	・在宅医療介護連携推進会議	・連絡会議	・連絡会議	・在宅医療介護連携推進会議	・連絡会議 ・地域ケア会議	・連絡会議	・連絡会議	・連絡会議	・連絡会議 ・地域ケア会議	・連絡会議

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	会議開催件数	新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関や施設関係者と頻回に会議を開催する事ができなかった。目標達成率が5割だったためCとした。

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除された為、会議開催数を増やしより連携を強化していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡会議 →町立病院月1回 →宮澤循環器内科クリニック年4回</li> <li>在宅医療介護連携推進会議 →年2回</li> <li>地域ケア会議 →随時</li> </ul>	各関係機関と連絡を取り調整していく。



2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2019年度)	内容
	道の駅連携イベント実施数	10回	2回	町外道の駅との連携イベントの実施回数
施策と指標の関連性	施策として行う町外の道の駅との相互連携事業の実施回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	1,200	1,200	0	3	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2021	500	500	0	5	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2022	500	500	0	7	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2023	500			10				・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標											
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制									
	物産振興を図るため観光協会（特産品部会）と連携した道の駅連携事業に取り組みます	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく									
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会 総会						相互 連携 事業		相互 連携 事業				
Check	「Do」の結果・チェックなど											
	結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)								
	Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	担当係にて確認による。	新型コロナウイルス感染症の影響を昨年度から継続して受けており、事業の実施を見送ったことから評価をYとし、次年度以降に実施への状況が整った際に実行したい。								
Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など											
Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)										
道の駅では観光客のみならず町民にも楽しんでいただける事業として検討したものであり、前年度の事業方針で継続して進める。	感染症の状況を鑑みて、3年続けて事業を見送っていることから、実施回数、事業日程の変更を検討したい。	実施回数を目標値・実績値としており問題がないことから前年度同様とする。										

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	道の駅入込数	160,000人	139,436人	道の駅しかおい、うりまく入込数
施策と指標の関連性	町内特産品を町外へ積極的に発信することなどにより増加させる、道の駅しかおい、うりまくの入込数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	500	500	0	150,000	154,133	Y	103%	・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
2023	500			160,000				・連携イベントの実施等による道の駅への入込数増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

**Plan** 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
物産振興を図るため観光協会（特産品部会）と連携した道の駅連携事業に取り組みます	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく

**Do** 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会 総会						相互 連携 事業		相互 連携 事業				

**Check** 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	道の駅レジ通過数をもとに入込数を算出	入込数は目標値を達成したが、感染症の拡大防止のため連携事業が実施できなかったため評価をYとした。

**Action** Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
感染症の状況を注視しながら道の駅の観光客増に努める。	感染症の状況を鑑みて、3年続けて事業を見送っていることから、実施回数、事業日程の変更を検討したい。	観光客の入込数を目標値・実績値としており問題ないことから前年度同様とする。



2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	町民課 住民生活係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	防災訓練等	10回	0回	行政区等を対象とした防災訓練等の回数
施策と指標の関連性 防災意識の普及のために実施する防災訓練等の回数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	4,567	4,567	3,996	10	0	C	0%	・防災備品の整備 ・防災防火フェスティバル開催 ・北海道総合行政ネットワーク工事負担金 他
2021	268	1,753	1,753	10	5	B	50%	・防災備品の整備 ・「防災・防火フェスティバルinしかおい」の開催 ・防災講話や防災訓練の実施 ・避難所運営マニュアルの整備
2022	268	346	343	10	5	C	50%	・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
2023	268			10				・防災備蓄の整備 ・防災講話や防災訓練の実施
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

評価総括表

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
・地域住民への防災に関する情報提供や防災訓練等を通じた意識啓発を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災ハザードブックや広報紙等を活用し、停電、断水、火災、風雪、水害、地震など自然災害等に対する防災意識の高揚に努めます。</li> <li>各関係機関と各種防災訓練等を実施し、災害時の被害を最小限に食い止めるよう、防災体制や災害時対応体制の充実強化に努めます。</li> <li>防災備品の計画的整備を図ります。</li> <li>避難所運営マニュアルを作成します。</li> </ul>	鹿追町防災会議・地域防災委員

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報等周知	防災・防火フェスティバル	防災備品整備			広報等周知						

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	開催実績回数	防災学習により児童・生徒の意識高揚を図ったほか、避難所運営マニュアルの策定は実施。防災備蓄の未整備、コロナ禍の影響により地域住民対象の防災訓練が未実施となったため、目標達成率を5割としてCとした。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
防災備蓄品の計画的な整備を進める。	防災委員の研修をはじめ行政区や事業所単位での防災訓練の実施により自助・共助の役割の重要性について意識の高揚を図る。	開催実績回数だけでなく、広報を含めた思想普及や防災体制の見直しによる対応能力の強化など総合的に評価する。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	町民課 住民生活係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	避難所運営マニュアル等の改定	3事業 (累計)	0	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアル等の改定
施策と指標の関連性 防災体制の強化を目的に、避難所運営マニュアル等の内容を充実させる。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	1	1	A	100%	感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアルの改定
2023	2,000			2				ハザードブックの更新 防災備蓄食料の整備
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業	事業			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
感染症対策等に配慮した避難所運営マニュアルを改定する。	・避難所における衛生管理、男女のニーズの違い、感染症対策を盛り込んだ避難所運営マニュアルを改定することにより避難者の不安を和らげる効果が期待できる。	鹿追町	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		関係機関打合せ	素案作成開始				素案作成完了	関係機関確認		マニュアル完成	HP等周知

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	・避難所運営マニュアルの改定	新型コロナウイルス感染症対策時を含めた避難所運営マニュアルを改定し、目標は達成できたが、周知・訓練・体験などを通じて実効性を高めて行く必要がある。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
引き続き新たに洪水浸水想定区域に指定された中小河川に対応したハザードブックの内容更新と住民周知に向けて取り組む。	災害備蓄食料の賞味期限切れにともなう更新及び計画的な整備に向けて令和5年度中に取り組む。	避難所運営マニュアルに基づく訓練及び体験の実施数並びに同ハザードブックの更新と住民周知の取り組みにより評価する。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	受入れホスト家庭数	358戸	308戸	受入れホスト家庭数
施策と指標の関連性	往来を伴う交流が中心で、ホームステイによる交流の継続を目標としているため、受入れホスト家庭数を目標値としている。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	20,000	17,859	1,415	328	318	B	97%	<ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹提携35周年事業の実施</li> <li>訪問団受入事業の実施</li> <li>相互住民長期滞在体験事業</li> <li>国際交流センターの運営</li> </ul>
2021	7,500	10,647	1,695	338	318	A	94%	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問団受入事業の実施</li> <li>相互住民長期滞在体験事業</li> <li>国際交流センターの運営</li> </ul>
2022	7,500	1,882	1,931	348	318	C	91%	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問団受入事業の実施</li> <li>相互住民長期滞在体験事業</li> <li>国際交流センターの運営</li> </ul>
2023	7,500			358				<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問団受入事業の実施</li> <li>相互住民長期滞在体験事業</li> <li>国際交流センターの運営</li> </ul>
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	戸	戸			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
往来を伴う交流の一部再開の検討と、往来を伴わない交流の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問団受入事業の再開の検討</li> <li>オンラインによる交流の実施（料理教室、語学教室）</li> <li>国際交流センターの運営</li> </ul>	企画課 国際交流協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流準備センター運営	交流実施センター運営	交流実施センター運営	交流実施センター運営

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	派遣・受入の実績をデータで管理している。	コロナ禍の影響で受入が実施できず、受入家庭の実績値は変わらなかった。鹿追高校生の派遣事業は再開し、2023年度の訪問団及び相互住民長期滞在事業の受入再開に向けた準備を進めることができた一方で、オンライン交流についてはうまく進めることができなかった。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2022年度においては鹿追高校生の派遣事業も再開し、2023年度にはコロナ以前の事業の実施に戻ることを予定している。そのため、ストニブレイン町側の希望でもある語学教室の検討以外はオンライン事業を縮小していく。	2022年度においては鹿追高校生の派遣事業も再開し、2023年度にはコロナ以前の事業の実施に戻ることを予定している。そのため、ストニブレイン町側の希望でもある語学教室の検討以外はオンライン事業を縮小していく。	これまでどおり、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	国際交流事業に参加した鹿追町民の数	60人	60人	
施策と指標の関連性	往来を伴う交流が難しい中、各種オンライン交流や国際交流センターにおけるイベント等の実施を通じて国際交流に興味をもつ町民を増やしていくことが、今後の交流事業に重要なため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	7,500	1,882	1,931	60	220	B	366%	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインを活用した交流の実施（料理教室、語学教室）</li> <li>国際交流センターにおける国際交流イベントの企画</li> </ul>
2023	7,500			60				<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインを活用した交流の実施（語学教室）</li> <li>国際交流センターにおける国際交流イベントの企画</li> </ul>
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
往来を伴う交流が難しい中、国際交流に興味を持ち、交流事業に参加する町民を増やしていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインを活用した交流の実施（料理教室、語学教室）</li> <li>国際交流センターにおける国際交流イベントの企画</li> </ul>	企画課 国際交流協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備	準備	準備	準備	平成館イベント①	準備	平成館イベント②	準備	オンライン事業	オンライン事業	オンライン	オンライン事業

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業の参加者数	平成館における国際交流イベントについては、①合同イベントの実施、②世界の朝食など、国際交流に興味を持つようなプログラムの実施ができた一方で、オンライン交流についてはうまく進めることができなかった。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2022年度においては鹿追高校生の派遣事業も再開し、2023年度にはコロナ以前の事業の実施に戻ることを予定している。そのため、ストニブレイン町側の希望でもある語学教室の検討以外はオンライン事業を縮小していく。	2022年度においては鹿追高校生の派遣事業も再開し、2023年度にはコロナ以前の事業の実施に戻ることを予定している。そのため、ストニブレイン町側の希望でもある語学教室の検討以外はオンライン事業を縮小していく。	これまでどおり、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国内友好都市等との交流促進
	施策の概要	東京都台東区との特定分野での連携のほか新たな分野での連携を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	国内姉妹提携都市数	1自治体	0	国内姉妹提携都市数
施策と指標の関連性	特定分野での連携のほか、新たな分野での連携を模索することが施策の具体的内容であり、現在ゼロとなっている国内姉妹都市提携の締結によって、様々な交流が推進されていくものと考えられるため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	3,635	4,998	392	0	0	B	0%	・台東区との連携協定終了後に向けた新たな連携の検討 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2021	3,635	3,310	981	0	0	Y	0%	・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2022	3,635	3,219	3,019	0	0	Y	0%	・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2023	3,635			1				・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	自治体	自治体			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
台東区との特定分野における連携協定に基づく事業の実施  台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童派遣事業の実施</li> <li>・ふるさと交流ショップへの出店</li> <li>・白蛇姫舞保存会の派遣</li> <li>・その他各種交流事業の実施</li> <li>・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進</li> </ul>	企画課 国内交流推進協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			児童派遣事業	交流ショップ 児童受入			環境71 とかち パーク	白蛇姫舞保存会 の派遣			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	姉妹都市提携の有無	姉妹都市提携には至っていないが、児童派遣事業の再開、ふるさと交流ショップや環境フェスタへの出店など各種事業が展開できている。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2022年度においては台東区への児童派遣事業も再開し、また各種事業の実施も概ね予定通り実施することができた。 2023年度からは台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進も終了となる。今後の取り組みをどのようにしていくのか検討しなければならない。	2022年度においては台東区への児童派遣事業も再開し、また各種事業の実施も概ね予定通り実施することができた。 2023年度からは台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進も終了となる。今後の取り組みをどのようにしていくのか検討しなければならない。	これまでどおり、事業結果については国内交流推進協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国内友好都市等との交流促進
	施策の概要	東京都台東区との特定分野での連携のほか新たな分野での連携を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	民間団体等との連携事業	3事業	2事業	台東区内の民間団体等との連携事業
施策と指標の関連性 自治体同士の交流から民間企業等同士の交流に波及させることが重要であり、まずは鹿追町-台東区内の民間団体等の交流を実施していくことが、民間団体等どうしの交流につながっていくと考えるため。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	3,635	3,219	3,019	2	2	A	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>台東区勤労者サービスセンターとの交流事業の実施</li> <li>千束通商店街との連携事業の実施</li> </ul>
2023	3,635			3				<ul style="list-style-type: none"> <li>台東区勤労者サービスセンターとの交流事業の実施</li> <li>千束通商店街との連携事業の実施</li> </ul>
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業	事業			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
台東区内の民間団体等との連携を模索していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>台東区勤労者サービスセンターとの交流事業の実施</li> <li>千束通商店街との連携事業の実施</li> </ul>	企画課 国内交流推進協議会

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			勤労者サービスセンター	千束通商店街連携							

Check 「Do」の結果・チェックなど
----------------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業実施数	台東区勤労者サービスセンターとの連携事業、千束通商店街との連携事業を想定通り実施することができた。

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
今後も継続して実施していくとともに、段階的に民間事業者どうしの連携になるように支援していく。	今後も継続して実施していくとともに、段階的に民間事業者どうしの連携になるように支援していく。	これまでどおり、事業結果については国内交流推進協議会の協議を経るものとし、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。



2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参加しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	無作為抽出による会議などへの参加件数	5件	0	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数
施策と指標の関連性 町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	1	0	B	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2021	0	0	0	2	1	C	50%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2022	0	0	0	3	0	D	0%	・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2023	0			5				・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
各種審議会委員等の選出における公募や無作為抽出などの手法の積極的な検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり基本条例の周知徹底</li> <li>・実施状況の確認</li> </ul>	町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）

Do 「Plan」 を実行するためのスケジュール・内容
-----------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
条例の周知	前年度実施状況確認					条例の周知					

Check 「Do」 の結果・チェックなど
-----------------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	庁内各課への照会による。	各課への周知等を行っているものの、無作為抽出による会議参加が進まない。総合計画など企画課が関与する計画策定などで、モデル的に実施するなどし、各課への波及も必要と考えている。

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
これまでの方針を継続するとともに、2023年度に総合計画の見直しを行う際には、モデル的に実施するなどし、各課への波及に努めたい。	これまでの方針を継続するとともに、2023年度に総合計画の見直しを行う際には、モデル的に実施するなどし、各課への波及に努めたい。	チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。



2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参加しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	公募による会議などへの参加件数	3件 (毎年)	1件	公募による会議などへの参加件数
施策と指標の関連性 町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えため				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	3	0	D	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり基本条例の周知徹底</li> <li>実施状況の確認</li> </ul>
2023	0			3				<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり基本条例の周知徹底</li> <li>実施状況の確認</li> </ul>
2024								
2025								
2026								
2027								
4年見直し								
単位	千円	千円	千円	件	件			

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
各種審議会委員等の選出における公募の積極的な検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり基本条例の周知徹底</li> <li>実施状況の確認</li> </ul>	町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
条例の周知	前年度実施状況確認					条例の周知					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	庁内各課への照会による。	各課への周知等を行っているものの、公募による会議参加が進まない。総合計画など企画課が関与する計画策定などで、モデル的に実施するなどし、各課への波及も必要と考えている。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
これまでの方針を継続するとともに、2023年度に総合計画の見直しを行う際には、モデル的に実施するなどし、各課への波及に努めたい。	これまでの方針を継続するとともに、2023年度に総合計画の見直しを行う際には、モデル的に実施するなどし、各課への波及に努めたい。	チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	広報広聴活動の拡充
	施策の概要	毎月発行している広報しかおいやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努めます。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	ふれあいトークへの参加人数	300人	-	ふれあいトークへの参加人数
施策と指標の関連性	誰もがまちづくりのための意見交換ができる場である、ふれあいトークの参加人数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	20	2	150	63	B	42%	・ふれあいトークの参加人数
2021	0	5	3	200	20	D	10%	・ふれあいトークの参加人数
2022	0	20	6	250	56	D	22%	・ふれあいトークの参加人数
2023	0			300				・ふれあいトークの参加人数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	ふれあいトークの周知	・広報誌、ホームページ、SNS、防災無線、地域マネージャーなどを通し周知を図る。	町長、地域マネージャー、企画課広報広聴係

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知	制度について適宜周知

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	ふれあいトークへの参加人数を計上	新型コロナウイルス感染症拡大の観点から開催を慎重に行っているが、前年度よりやや緩和傾向にあることから、カフェトーク2回、出前トーク2回、計4回実施している。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染症がら類に移行したことから、開催回数の増加を見込むものの、依然として感染拡大が懸念されている側面もあることから、慎重に開催を検討していく。	新型コロナウイルス感染症がら類に移行したことから、開催回数の増加を見込むものの、依然として感染拡大が懸念されている側面もあることから、慎重に開催を検討していく。	従前同様、ふれあいトークの参加人数を実績値とする。

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	広報広聴活動の拡充
	施策の概要	毎月発行している広報しかおいやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努めます。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	鹿追お知らせメール登録件数	1,500件	1,328件	メール、LINE、アプリの登録総件数
施策と指標の関連性	効果的、効率的な情報発信を行うために開始した、新たな情報発信ツール「鹿追お知らせメール」の利用者の登録件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	1,400	1,663	A	119%	広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどで周知する。
2023	0			1,500				広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどで周知する。
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

2022 (R4) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
鹿追お知らせメール登録の周知	・広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知を図る。	企画課、各課、地域マネージャー

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容	
----------------------------	--

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知	加入促進を適宜周知

Check 「Do」の結果・チェックなど	
----------------------	--

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	鹿追お知らせメールの登録者数(メール・LINE・mishika)を計上	お知らせメールの利便性が利用者に浸透した点や、高齢者スマホ教室や出前トークでの周知を行ったことにより目標を大きく上回ることができた。

Action Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など	
--------------------------------------	--

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
前年度に引き続き、出前トークや高齢者スマホ教室、広報誌での告知活動を行っていく。また、配信内容の精査を行い、利用者が欲しい情報の提供に努める。	前年度に引き続き、出前トークや高齢者スマホ教室、広報誌での告知活動を行っていく。	従前同様、登録者数を実績値とする

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	行政区支援事業への参加数	35件	24件	行政区支援事業への参加件数
施策と指標の関連性	地域の課題を地域の力で解決できるようになるために実施する、行政区支援事業への参加件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	763	422	25	8	C	32%	・行政区支援事業への参加件数
2021	0	778	441	28	8	C	29%	・行政区支援事業への参加件数
2022	0	3,000	282	30	8	D	27%	・行政区支援事業への参加件数
2023	0			35				・行政区支援事業への参加件数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
町内会（地域のつながり）の大切さを啓発	・広報誌などを通し啓発を図る。	企画課広報広聴係

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発	適宜啓発

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	地域のつながり活動助成事業を実施する行政区数を計上	前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の観点から活動を自粛する行政区が多くみられた。そのような現況の中、8行政区が感染防止の工夫を行いながら活動を実施することができたのは大きな成果である。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルスが5類に移行したことから、前年度よりつながり活動の申請数の増加を見込んでいる。また、2023年度より申請条件を見直し、2年間の制度延長を行う。	これまでの申請実績を踏まえ2023年度より申請条件を緩和し、より活用しやすい制度としている。	従前同様、地域のつながり活動助成事業への参加件数を実績値として計上する

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2021年度)	内容
	職員による出前講座の開催	20回	14回	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
施策と指標の関連性	地域の課題解決のために実施する、職員等による、役場の新規事業や防災・防犯についての出前講座や勉強会の開催回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2022	0	0	0	15	14	A	93%	職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
2023	0			20				職員等による出前講座、勉強会などの開催回数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

4年見直し

2022（R4）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	つながり活動事業などを通し周知	広報誌、ホームページ、SNS、地域マネージャーなどを通し周知。	企画課 各課 地域マネージャーなど

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知	適宜周知

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	地域のつながり活動実績報告書に基づく職員の出前講座の実施回数	依然として新型コロナウイルス感染症の観点から活動を自粛する行政区が多くみられるものの、ウィズコロナ時代の中で、活動を実施する行政区に対して広く講座を開催することができた。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染症が5類に移行することから、活動を再開する行政区が増加することが見込まれる。引き続き依頼のあった行政区に対し、出前講座を実施していく。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行することから、活動を再開する行政区が増加することが見込まれる。引き続き依頼のあった行政区に対し、出前講座を実施していく。	前年度同様、地域のつながり活動実績報告書に基づく職員の出前講座の実施回数を計上する。

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	他市町村との情報共有など広域行政の連携強化
	施策の概要	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合などによる事業促進を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	十勝管内の観光入込み客数(延べ人数) 十勝管内バス乗客数	1,046万人 464万人	1,033万人 459万人	定住自立圏共生ビジョンの成果指標
施策と指標の関連性	十勝全体の広域的な取組みの中核をなす、定住自立圏共生ビジョンにおいて成果指標としているため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	797	1,039	968		1,026 451	B	98%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2021	797	1,785	1,685		707 326	B	69%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2022	797	1,709	1,611		711 328	B	69%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2023	797			1,046 464				十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	万人	万人			

4年見直し

2022(R4)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2022年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合などによる事業促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>十勝定住自立圏</li> <li>十勝圏複合事務組合</li> <li>とちかち航空宇宙産業基地誘致期成会</li> <li>十勝町村会</li> <li>十勝圏活性化推進期成会</li> </ul>	町長、副町長 各所属長 企画課(事務局) 各団体	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進	事業への参加及び促進

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以上 D:目標の2割以上 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事務局(帯広市)による取りまとめによる。	コロナ禍において、関係指標の落ち込みが大きいものの、2021年度からは新たに広域による公共交通計画の策定に向けた取組みを進めるなど、広域連携の推進が図られている。

Action	Checkを受け、2023年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
広域連携のため、本町が主体的に事業を実施するものではないが、本町にとって最大限の効果が得られるように引き続き参加していく。	広域連携のため、本町が主体的に事業を実施するものではないが、本町にとって最大限の効果が得られるように引き続き参加していく。	引き続き、十勝定住自立圏による成果指標の把握を行い、結果及び振り返り総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。